

4 - 1 伊豆半島およびその周辺の地震活動 (1998年11月～1999年4月) Seismic Activity in and around the Izu Peninsula (November, 1998-April, 1999)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division Japan Meteorological Agency

第1図右は1996年1月1日～1999年5月11日までの期間に伊東市鎌田観測点で観測されたS - P時間が6秒以下の地震の日別地震回数で、同図左は1999年3月1日から5月10日までに伊豆半島およびその周辺に発生した地震の震央分布である。1998年4月20日～6月2日の群発地震活動¹⁾の後、地震活動はしだいに落ち着いてきている。

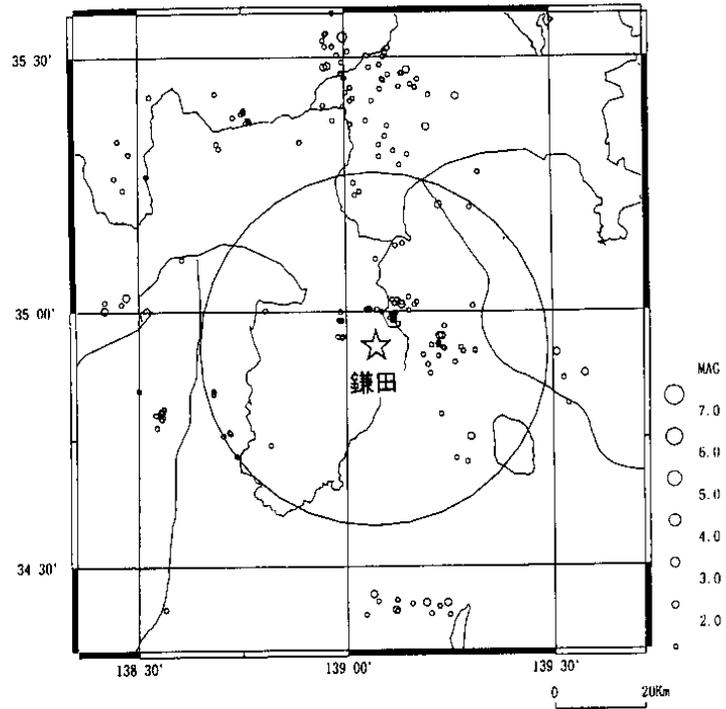
1997年6月26日頃から始まり、30日に活発化した伊東港北沖の地震活動は、消長を繰り返しながら、深さ6～8km前後のところを継続して発生してきたが、1998年末頃から時々活動に途切れが見られるようになった(第2図)。鎌田の地震回数が1995年9月や1996年10月の群発活動の前のような静かな状態にならないのは、この地震活動によるところが大きかったので、鎌田の地震回数のレベルはかなり低下して来ている。

参 考 文 献

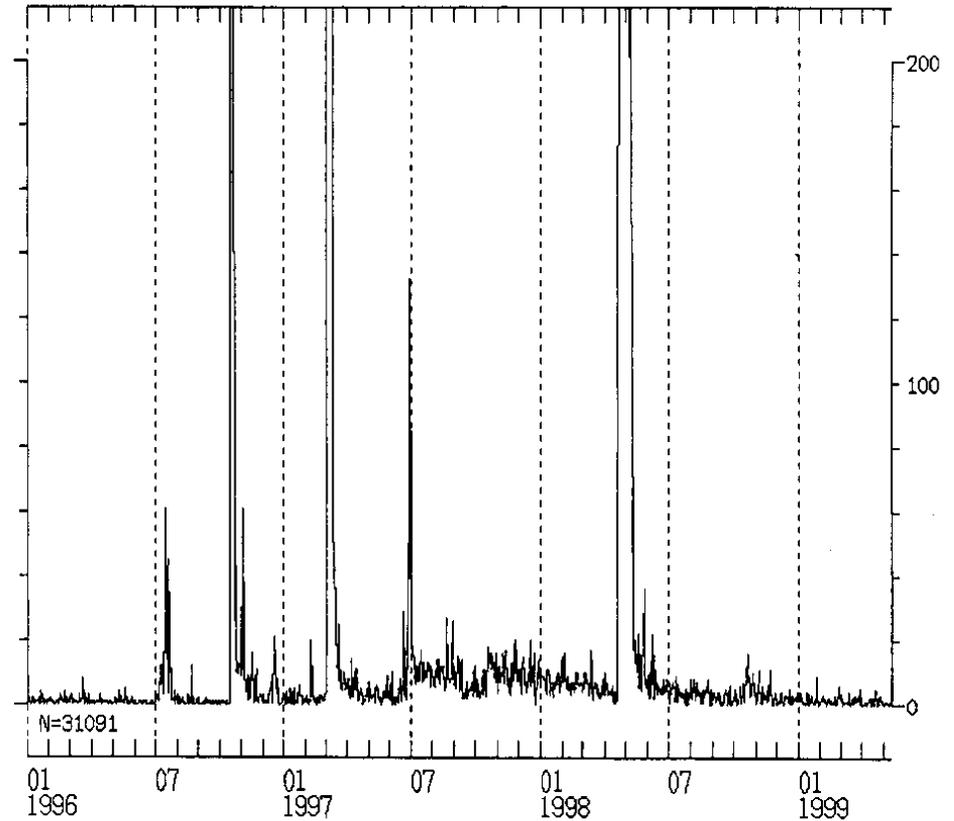
- 1) 気象庁地震予知情報課：伊豆半島およびその周辺の地震活動，連絡会報，61(1999)，218-221

伊東市鎌田における日別地震回数
($S-P \leq 6\text{sec}$)

1999年3月1日~1999年5月10日の震央分布



$0 \leq \text{Depth} \leq 90 \text{ km}$
図の円内は鎌田における $S-P \leq 6\text{sec}$ の範囲を示す。



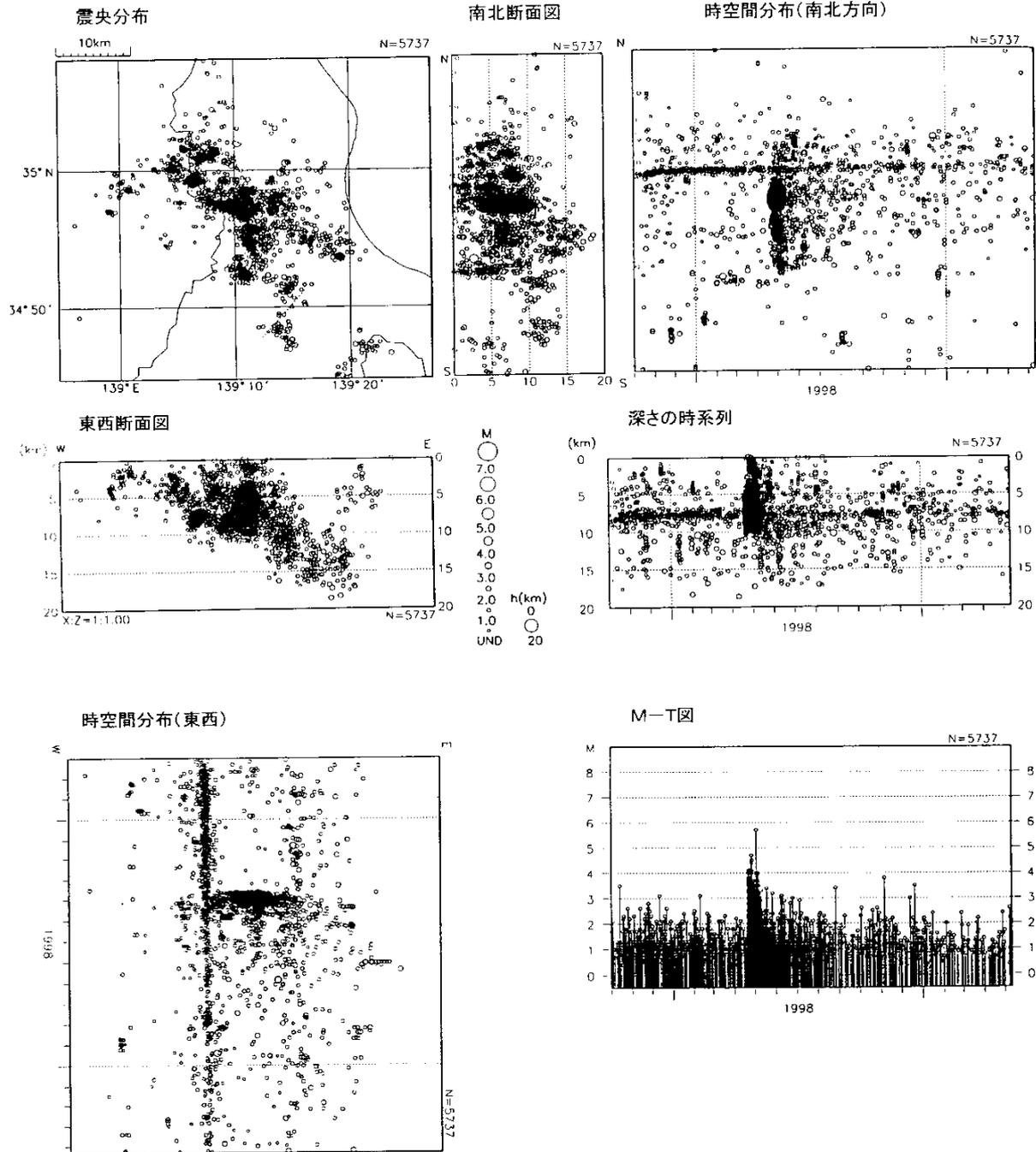
1996/01/01 - 1999/05/11

第1図 1996年1月1日~1999年5月11日までの伊東市鎌田における日別地震回数($S-P \leq 6$ 秒)。挿図は1999年3月1日~5月10日の震央分布。

Fig.1 Daily number of earthquakes observed at Kamata in Ito city ($S-P \leq 6.0$ sec) from January 1, 1996 to May 11, 1999. Inset shows epicenters for Mach 1 to May 10, 1999.

最近の伊豆半島東方の地震活動について(再決定震源)

1997年10月1日~1999年5月10日



第2図 1997年10月1日~1999年5月10日の伊豆半島東方沖の地震活動。a:震源分布，b:東西の時空間分布図，c:南北断面の時空間分布図，d:震源の深さの時間変化，e:M-T図

Fig.2 Seismic activity off east coast of the Izu Peninsula from October 1, 1997 through May 10, 1999. a:Hypocentral distribution, b:time-space plots along E-W direction, c:time-space plot along N-S direction, d:focal depth-time diagram, e:M-T diagram.